

MORIGUCHI
Kunihiko

Crossroads of
Creativity

The National Museum of
Modern Art, Kyoto

人間国宝
森口邦彦

友禅／デザイン
交差する自由へのまなざし

Yuzen Sis.

2020.10.13_{tue.} — 12.6_{sun.}

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

開館時間 午前9時30分～午後5時(金、土曜日は午後8時まで開館)※入館は閉館の30分前まで

休館日 月曜日、11月24日(火)※ただし、11月23日(月・祝)は開館

主催 京都国立近代美術館、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、
日本経済新聞社、京都新聞

特別協力 三越伊勢丹ホールディングス

友禅着物 楔形漸層文「新雪」(部分) 1986年 広島県立美術館蔵 半期展示
会期中に一部展示替えがあります。前期:10月13日-11月8日/後期:11月10日-12月6日



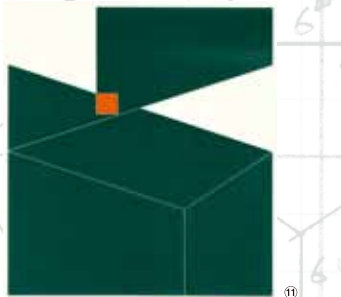
**MORIGUCHI
Kunihiko**



Yuzen / Design

Crossroads of
Creativity

The National Museum of
Modern Art, Kyoto



イベントにつきましては当館ホームページでご確認ください。

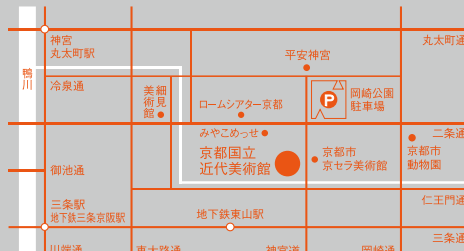
観覧料：一般1000円(800円)、大学生500円(400円)、
高校生以下・18歳未満無料

- ※()内は前売、20名以上の団体および夜間割引(金・土曜午後5時以降)
- ※心身に障がいのある方と付添者1名は無料
(入館の際に証明できるものをご提示ください)
- ※本料金でコレクション展もご覧いただけます
- ※前売券は10月12日までの期間限定販売
- ※チケット販売所：チケットぴあ(Pコード:685-381)、
ローソンチケット(Lコード:52904)、ほか主要プレイガイド、
コンビニエンスストアなど(チケット購入時に手数料がかかる場合があります)
- ※新型コロナウイルス感染予防のため、
開館時間・休館日は変更になる場合があります。
ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください

- ①友禅着物「雪明り」草稿 1969年
- ②友禅着物「曙」草稿 1974年
- ③友禅着物「薔園」草稿 1981年
- ④友禅着物「千花」1969年
- ⑤友禅着物「網代文様」1972年
- ⑥友禅着物「漸層黄唐茶格子文」1993年
- ⑦友禅着物「緋稜文」2000年
- ⑧友禅着物 白地位相割付文「実り」2013年 三越伊勢丹ホールディングス蔵
- ⑨三越ショッピングバック「実り」2014年
- ⑩カップ・アンド・ソーサー「実り」2016年
- ⑪Etude sur le vert 12 1990年 広島県立美術館蔵

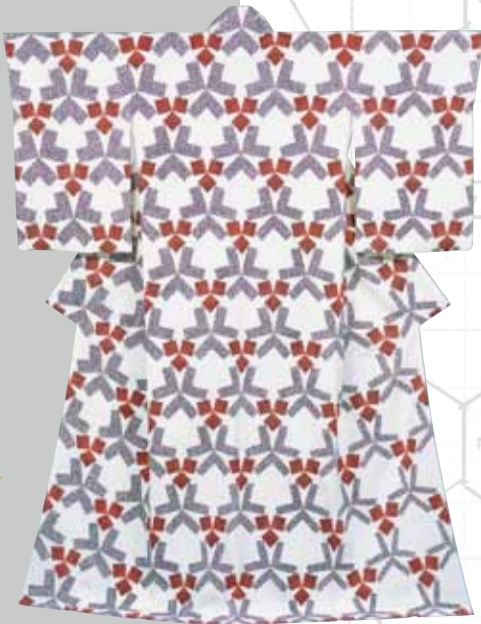
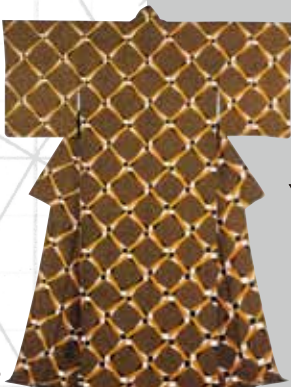
京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
電話：075-761-4111 ホームページ：<https://www.momak.go.jp/>



【交通案内】
 ●JR・近鉄～バスをご利用の方
 ○JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
 ○JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)清水寺・銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
 ○阪急・京阪～バスをご利用の方
 ○阪急烏丸駅・京都河原町駅・京阪三条駅から市バス5番 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
 ○阪急烏丸駅・京都河原町駅・京阪祇園四条駅から市バス46番 祇園・平安神宮行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
 ○バス他系統をご利用の方
 ○「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分
 ○「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分
 【地下鉄をご利用の方】
 ○地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
 【お車で越しになる方】
 当館には駐車場がありません。近隣の有料駐車施設のご利用をお願いいたします。岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

令和2年度日本橋主権、共催型イベント、大シテ、beyond 2020、京初



森口邦彦は1956年に友禅作家の森口華弘の次男として京都に生まれました。京都市立美術大学(現京都市立芸術大学)日本画科を卒業後、フランス政府給費留学生として渡仏。約三年間をパリの国立高等裝飾美術学校に学びます。そして将来の方向性に明確な答えを出せずに帰国をためらっているときに、知遇を得ていた画家バルテュスを当時彼が館長を務めていたローマのフランス学館(ヴィラ・メディチ)に訪ね、そのとき彼から論ずるような言葉が投げられました。それは「君の身近に友禅という素晴らしい伝統があるのではないか。その伝統を途絶えさせてはいけない。それを今に生かすのが君たち若者の責務だ」というものです。この言葉に促されるように、森口はパリで学んだグラフィック・デザインの思考と幾何学文様を大胆に組み合わせることで、伝統工芸の「友禅」に留まらない新しい創作の可能性を拓いてきました。友禅作家として森口は、着物制作だけでなく、平面上のパターン展開による連作、日本の老舗百貨店の三越やイギリスのライフスタイルブランドのリバティ・ロンドン、フランス国立の磁器製作所のセーヴルなどのコラボレーションによるデザインも多々手掛けています。これら森口の創作は、歴史的に積み重ねられてきた技と感性を出発点に社会に友禅・デザインを還元させるための実践であるといえます。本展では、初期から今日までの森口の着物の代表作やそれらの草稿、様々なデザイン関連の仕事など、森口の多様な活動を一堂に展示することで、友禅とデザイン、伝統と現代、東洋と西洋が様々に交差して生まれる森口邦彦の創作活動の全貌をご紹介します。

**Yuzen
Design**

